

どんな研究？

- 国際標準技術MPEG-4 ALSを用いた音響データのロスレス伝送とデジタル機器再生技術
- 実用的なアルゴリズムによる圧縮率向上と高速化
- ハードウェア・ソフトウェアへの実装

もたらされる変革

- 時系列信号（波形を描けるデータ）を劣化させずに圧縮して伝送・蓄積することができます。
- コンサートホールの音をそのまま伝送して、別の会場で楽しむことができるようになります。

展示紹介

- 音響ロスレス符号化 (ALS) の使用例として、
 - ①ライブ演奏音響ロスレス配信実験
 - ②ALS準拠データのデジタル機器による再生を紹介します。
- 音のデータを歪み無く劣化させずに圧縮できるので、高品質な音を楽しむことができます。皆様にも是非この技術を使っていたきたいと思います。いち早くALSを体験してみてください。

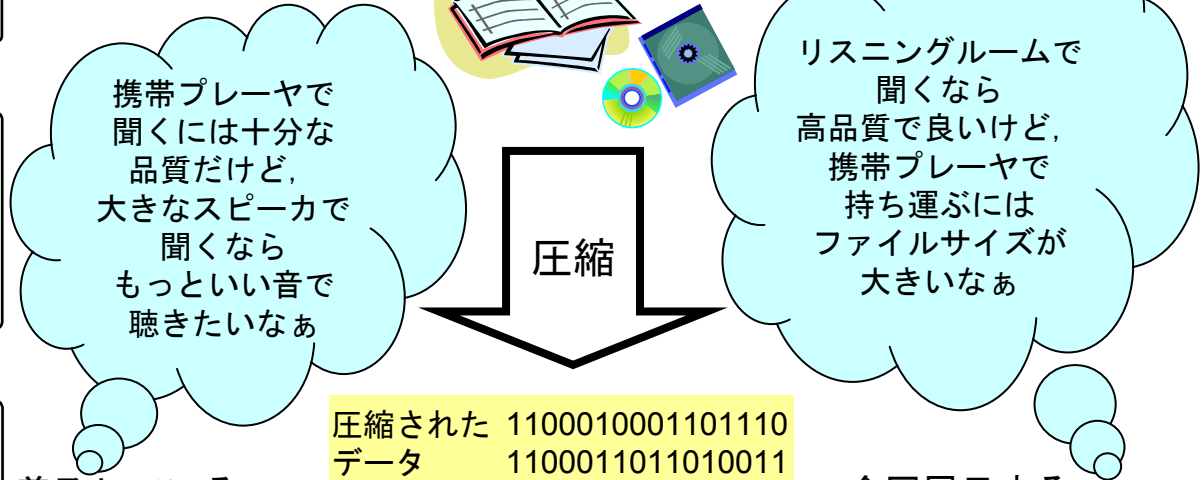


連絡先：鎌本優
守谷特別研究室

音楽データ
(原音)

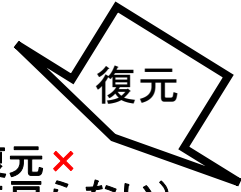


高品質な音を皆様に楽しんでいただきたいと思います



圧縮されたデータ 1100010001101110
データ 1100011011010011

普及している音響符号化 (MP3, AAC等) サイズ1/10程度



今回展示する音響ロスレス符号化 (MPEG-4 ALS) サイズ1/2程度

